

今右衛門の色鍋島

平成29年9月9日(土)～11月26日(日)

江戸時代に佐賀・鍋島藩窯で製造された色鍋島は、精緻さと洗練されたデザインで、格調高い美しさを誇る色絵磁器。今右衛門家は代々御用赤絵師を務め、その美質を今日まで伝えるとともに、新しい時代に相応しい美と品格を追求しています。人間国宝十四代今泉今右衛門等の作品を通して色鍋島370年の造形美に迫ります。

十四代今泉今右衛門「色絵薄墨墨はじき桜文蓋付瓶」
2011年 個人蔵



新収蔵品展 ひょうごの古陶めぐり —瀬戸内・淡路—

平成29年12月9日(土)～平成30年2月18日(日)

江戸時代中期以降、兵庫県内では各地で窯場が誕生し、瀬戸内や淡路でも、個性溢れるやきものが作られました。当館でおなじみの東山焼や珉平焼とともに、明石焼や舞子焼、赤穂の雲火焼など、初お目見えを多数含む館蔵品を中心に紹介します。

朝霧 色絵段替文手桶形花入 文政8年(1825)箱書
兵庫陶芸美術館(北後豐子氏寄贈)



弥生の造形(仮称)

平成30年3月10日(土)～5月27日(日)

平成20年開催の「縄文—いにしへの造形と意匠—」展に続く、土器シリーズ第2弾。弥生時代の名前の由来となった土器をはじめ、全国各地の遺跡から出土した弥生土器を通して、その造形美や意匠とともに、弥生人のモノづくりの一端を探ります。

向分岡貝塚出土「弥生式土器第1号」(重要文化財)
弥生時代後期 東京大学総合研究博物館



松本ヒデオ展

平成29年12月9日(土)
～平成30年2月18日(日)

1980年代より現代陶芸の若き旗手として注目され、独自の世界観を示す大型作品で異彩を放つ松本ヒデオ。磁土と石膏型という伝統的な技法を用いつつ、削り片や糸状の土、ガラスなどを組み入れたユニークな造形に迫ります。



松本ヒデオ「囲み取って賞でるⅢ」
2007年 個人蔵 Photo 永田陽

丹波焼の世界

平成29年5月27日(土)～平成30年3月31日(土)
(平成30年2月26日(月)～3月9日(金)は休館)

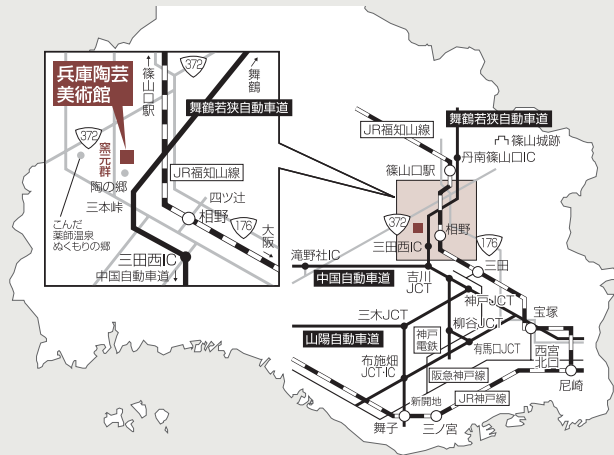
日本六古窯の一つに数えられ、800年以上の歴史を持つ丹波焼。変化しながらも現代まで続く丹波焼の世界をお楽しみください。



丹波「壺 銘 布引」室町時代前期 兵庫陶芸美術館(田中寛コレクション)

美術館ご利用案内

- 開館時間 【4月～10月】
午前10時～午後7時
ただし、7月～8月の特別展開催中の金・土及び
4月29日(土・祝)～5月5日(金・祝)は午後9まで
【11月～3月】
午前10時～午後6時
※入館はいずれも閉館の30分前まで
- 休館日 毎週月曜日(月曜日が祝休日の場合は翌平日)
年末年始(12月31日と1月1日)
- 観覧料金 展覧会により異なります。ホームページ等でご確認ください。
(ただし、施設への入場は無料。)



交通のご案内

【JRをご利用の場合】

- JR福知山線「相野駅」下車(大阪駅から約50分)
駅前より神姫グリーンバス「兵庫陶芸美術館」「こんだ薬師温泉」
または「清水寺」行き乗車約15分「兵庫陶芸美術館」下車
(相野駅よりタクシーの便もあります)
- JR福知山線「篠山口駅」下車、4月、5月、9月、10月、11月の土・日・祝日には直通バスを運行予定。ダイヤ等は美術館にお問い合わせください。

【自動車をご利用の場合】

- 舞鶴若狭自動車道・三田西ICより約15分または丹南篠山口ICより約20分
- 中国自動車道・滝野社ICより国道372号を東へ約30分
- 阪神方面より国道176号を北上し、三田市四ツ辻信号を左折約15分

【駐車場について(無料)】

- 敷地内に58台分(普通車)の駐車スペースをご用意しています。
- 移動が困難な方は、館玄関前に駐車できます。
- 観光バスの受付については、下記の団体受付窓口にご連絡下さい。

【その他】

- 無料貸出有(車椅子4台、ベビーカー1台)



土と語る、森の中の美術館
兵庫陶芸美術館
The Museum of Ceramic Art, Hyogo

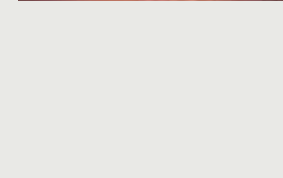
〒669-2135 兵庫県篠山市今田町上立杭4
TEL.079-597-3961 FAX.079-597-3967
団体受付窓口 TEL・FAX.079-597-3970
※17時まで

E-mail togei@pref.hyogo.lg.jp URL http://www.mcart.jp

展覧会のご案内

Exhibition Guide

2017.4▶2018.3



土と語る、森の中の美術館
兵庫陶芸美術館
The Museum of Ceramic Art, Hyogo

●特別展のご案内

丹波焼と三田焼の粋を集めて

—森基コレクションの名品—

平成29年3月4日(土)～5月28日(日)
実業家森基(もりはじむ)氏は、丹波焼(兵庫県篠山市)と三田焼(同三田市)に魅せられ、50年以上にもわたり精力的に収集しています。そのコレクションから約160点を選び、丹波焼の変幻自在ともいえるスタイルの変遷や、三田焼の豊富なバラエティーを紹介いたします。



三田「青磁龍波清文盃洗」江戸時代後期 個人蔵

マイセンの美 —いとしのフィギュリン 華麗なるセルヴィス—

平成29年6月10日(土)～8月27日(日)

ドイツのマイセン磁器製作所は、300年を超える歴史の中で多くの魅力的な作品を生み出しました。19世紀のフィギュリン(陶製人形)やセルヴィス(食器セット)など、約100点の岐阜県現代陶芸美術館・小早川コレクションによって、マイセンの鮮やかで優雅な世界を紹介いたします。



マイセン磁器製作所「五感の寓意『聴覚』」
原型製作者:ヨハン・カール・シュエンハイム
原型制作年:1772年
作品製造年:19世紀後半
岐阜県現代陶芸美術館(小早川コレクション)

●テーマ展のご案内

かわいいやきものわきあいあい

平成29年3月4日(土)～5月21日(日)

昨今、「かわいい」という言葉で形容されるものは多様化するとともに、「きもかわいい」などの派生語も生まれています。そんな「かわいい」に焦点をあて、「これぞ『かわいい!』」やきものから「これって『かわいい!』?」やきものまでを、当館所蔵品より紹介します。



坂平「色絵銅錫形香合」江戸時代後期～明治時代
兵庫陶芸美術館(田中賞コレクション)

四代永澤永信展

平成29年6月10日(土)～8月27日(日)

四代永澤永信(1938—)は、出石焼の産地(兵庫県豊岡市)で活躍する陶芸家です。伝統的な白磁に、自然から得た心象風景を映し出したうつわを中心に制作し高い評価を得ています。初期のオブジェから、日本現代工芸美術展の文部科学大臣賞を受賞した近作「霖雨」(2015)を通じて約60年に渡る作陶活動を紹介いたします。



四代永澤永信「霖雨」2015年 個人蔵

●講座のご案内

陶芸文化講座

「特別展」に関連したワークショップやその他多彩な講座等を開催し、やきもの文化を体験します。

- 年数回.....20人程度
- ①釉薬づくりに挑戦! ～私の三田青磁～
.....4月22日(出)
- ②かわいい豆皿をつくろう!
.....4月23日(日)



子育て世代陶芸ワークショップ

作陶をとおして、子育て世代の交流や親子のコミュニケーションを図ります。

- 年1回(7月).....親子40人程度

県民陶芸大学

丹波焼の窯元指導による電動ロクロを使った作陶、施釉、仕上げ等の陶芸工程を学びます。

- ①初心者コース
5月13日(出)～6月11日(日) 全8日.....20人
- ②基礎コース
6月17日(出)～7月16日(日) 全8日.....20人
- ③応用コース
7月29日(出)～8月27日(日) 全8日.....20人



技術専門講座

丹波立杭焼伝統工芸士の指導のもと、高度な陶芸技法や専門的な知識を学びながらスキルアップを目指します。

- 年1回(10月～11月).....20人

陶芸ワークショップ「登り窯体験ワークショップ」

丹波土を使って、丹波焼最古の登窯で焼成する作品を作ります。窯詰め、窯焚き、窯出しなどの工程も体験できます。

※今年度は作陶のみ、焼成にかかる工程は次年度の実施となります。

- ①窯元指導コース 年1回(2月) 全6日.....20人
※作陶以外(4月～5月) 全6日
- ②自由作陶コース 年1回(2月～3月) 全8日.....40人
※作陶以外(4月～5月) 全6日

著名作家招聘事業

著名作家による、若手作家に向けたワークショップ等を開催します。平成29年は、陶磁器という伝統的な素材をユニークな方法で操り、現代美術的なアプローチで制作している松本ヒデオ氏をお迎えします。

※ワークショップ、講座とも開催の1～2ヶ月前に募集を行いますので、詳細はお問合せください。日程及び内容等は、都合により変更となる場合がありますのでご了承ください。

こんだ学セミナー

丹波焼を含む陶芸文化や美術館が立地する丹波焼の里の歴史、文化、自然環境などを幅広く学び、その多様な魅力を発信するためのセミナーを開催予定。詳しくはお問い合わせください。

地域と連携して進める丹波焼の里ミュージアムの創造

800年の伝統と歴史を誇る丹波焼の里に立地する兵庫陶芸美術館は、丹波焼をはじめとする全県的な陶芸文化の振興を図るとともに、多彩な地域資源と豊かな自然環境を活かし、陶磁器と人との交流を進め、丹波焼の里全体がまるごと一つのミュージアムとなるよう、地元陶芸家、隣接する「陶の郷」などと連携を図り様々な事業を展開しています。

- 丹波焼の里情報コーナー(展示棟入口・無料)
- 丹波焼窯元路地歩きガイド(団体のみ・有料)
- やきものの里 春ものがたり(ゴールデンウィーク)
- お茶会
- 丹波焼陶器まつり
- いけばなアート展



いけばなアート展



最古の登窯焼成

学社連携事業 体験をとおして「やきもの」を学ぶ

兵庫陶芸美術館では、こどもたちの創造力や発想力を育成支援するために、小・中学校、高等学校及び教育関係機関、ボランティア、丹波焼窯元、陶芸関連施設(陶の郷)と連携し、「やきもの」を軸とした展示会の鑑賞、窯元工房や登り窯の見学、作陶体験などを企画提案します。

兵庫陶芸美術館独自のプログラム

- ワークシートを使った展示会鑑賞
- 丹波焼のDVD鑑賞、やきものクイズなど
- 丹波焼の伝統技法の紹介や歴史について学習
- 電動ロクロ実演

他の陶芸関連施設・団体とコラボしたプログラム

- 作陶、絵付け体験(陶の郷)

その他

- 丹波焼最古の登窯見学



●施設のご案内

- エントランス棟 (1F) チケット売場 工房 各種講座が実施されます。
- (2F) レストラン 展望デッキ 丹波焼の里を一望できるデッキでお食事や喫茶をお楽しみください。



展望デッキ

- 展示棟 5つの展示室があり、特別展やテーマ展など、様々な展示会を開催します。

●管理棟

レファレンスルーム 陶芸関係専門図書があります。(閲覧無料・事前申込要) コミュニティギャラリー (無料・事前申込要) 創作活動の発表スペースとしてご利用いただけます。



コミュニティギャラリー

●研修棟

講演会やイベントが開催できるほか会議や発表会などにもご利用いただけます。 セミナー室(定員72名) 談話室(定員20名)

区分	セミナー室(161㎡)	談話室(73㎡)
定員	72名(教室型) 移動椅子使用時120名	20名 (最大32名)
使用料	午前	2,400円
	午後	3,500円
一日	5,900円	3,100円

(入場料を徴収しない場合等の通常料金)



セミナー室

●茶室

ご利用を希望される場合は、兵庫陶芸美術館又はレストラン(虚空蔵)にご相談ください。